

地域連携推進会議 議事録

日時 : 2026 年 3 月 24 日 (火) 13:30~15:30

場所 : はにかむ (グループホーム)

参加者 : T さん(地域にお住まいの方)、M さん(利用者のご家族)M さん(利用者)、W さん(管理者)、M さん(支援員)

1. 施設等やサービスの透明性・質の確保

◆ 利用者の様子について

- ・ 半年間で利用者は生活に慣れ、落ち着いて過ごしている。
- ・ 食事・入浴以外は各自の部屋で趣味の時間を楽しむ様子が見られる。
- ・ 洗濯物干しなど、身の回りのことも自分で行う場面が増えてきた。
- ・ 仲間同士の関係性も良好で、助け合う姿が見られる。
 - 。 例：S さんが毎日食器を人数に合わせて準備する／M さんがトイレの汚れを教えてくれる等。
- ・ 室内電気に関して、利用者間の生活リズム違いから「勝手に消される」困りごとが挙がった。
 - 夜勤者に共有し、対策（サイン、ライト活用など）を検討。

◆ 経営状況の報告 別紙「2025 年度 はにかむ収支」参照。

- ・ 現状、グループホームは赤字なく運営できている。
- ・ 利用者 6 名が安定して利用しており、収入は確保できている。
- ・ 将来的に「365 日型」への移行可能性はあるが、現状は家庭の意向により週末帰宅を継続。

◆ 外出について 別紙の写真も参照。

- ・ 仲間の希望をもとに「葛西臨海水族園」へ外出を実施。
- ・ 昼食はレストランでハワイアンプレートなどを食べ、楽しんでいる様子が見られた。
- ・ 車中では「次に行きたい場所」について話題になり、
 - 。 地下鉄博物館などが候補に挙がった。
- ・ 今後も外出企画を継続し、利用者の楽しみと社会参加の機会をつくっていく。

2. 施設等と地域との連携

◆ 近隣からの苦情等の共有

- ・ 現時点で苦情は特にないの報告。
- ・ 行事の際の音量なども問題なし。
- ・ 回覧板配布のタイミングに合わせてチラシを入れる場合は、事前に配布日を確認すると良いとの助言あり。

- Amazon など近隣企業との良好な関係が続いており、困りごとの際に協力を得られることがある。

3. 利用者の権利擁護

◆ 虐待・事故・ヒヤリハット報告

- 虐待の発生はなし。
- 小さなサイン（呼び捨てなど）は虐待につながる可能性があるため、スタッフ会議で注意を徹底。
- 大きな事故はなし。
- ヒヤリ例：
 - ソファでの跳びはねによる転倒リスク
 - 玄関アラームが消され、外出の気づきが遅れる可能性への注意
- 夜間は夜勤者 1 名体制だが、緊急時は管理者へ直通連絡。
- カメラ設置済み（居室・浴室・トイレ等は除く）。

◆ 支援者（利用者家族等）の様子

- 仲間の家族からは「生活が安定していて安心」との声。
- 自宅でも積極的に手伝いをするなど、成長が見られている。
- 外出のお土産を家族に買うなど、温かい関係性が継続。

4. その他

◆ グループホーム増設について 別紙「工程表」「設計図」参照。

- 現在の建物と隣接地をつなぐ増設工事が進行中。
- 完成予定：2026 年 7 月 20 日引き渡し予定。
- 既存ホームと新設部分は通路で連結。
- 新リビングは広く、今後の食事はそちらで実施予定。
- 部屋配置：
 - 男性棟（1 階）
 - 女性棟（2 階）にエレベーター設置
- 工事で壁を抜く期間は安全確保のため囲い設置予定。
- 開所予定は 2026 年 8 月ごろを見込む。

5. まとめ

- 利用者の生活は安定し、仲間との関係性も良好。
- 外出・日中活動も充実し、サービスの質は保たれている。
- 地域との関係も良好で、今後の増設で利用環境がさらに向上する見込み。
- 今後も利用者の声を大切にし、安心・安全な暮らしを支えていく。